

## ☆方向指示器がおかしくなった日本

―生活・平和・原発・沖縄―

かりそめの繁栄の陰で

◇異常ともいえる円安、そして株高、一見豊かになってきているように見える日本経済。みなさんの日常生活はいかががでしようか？浜松の街は活気に溢れていますか？大企業だけが潤い経済格差が広がったのではないでしようか。

◇来年は戦後七十年の節目を迎えます。しかし来年日本は「集団的自衛権の行使」と呪文を唱えれば、海外で武力行使（＝戦争）の出来る国に生まれ変わるかもしれない。

◇電気は足りているのに危険でコストの高い原発を再稼働させようとする政府財界。県内への基地建設反対で当選した沖繩県知事の心変わりに乗じて辺野古に巨大軍事要塞の建設に着手した政府。これもおかしいことです。

そのほか、オリンピックに便乗してカジノ（＝ばくち）を認めよう、財界の政治献金を自由に・・・などおかしなことがいっぱいあります。

政府の方向指示器はどちらを向いているか？

◇問題は政治の目線が国民に向いているか、特に繁栄から落ちこぼれた弱者に向けられているかどうかです。

◇安全保障についても、本当に国民の命を守る方向に向いているのか？正しい方向指示器は平和憲法であるべきでしょう。

### 基準は平和憲法

◇国際情勢が変わったから、いまの憲法による舵取りは通用しない、別の基準で舵取りをしよう、それが普通の国だと言う人が増えてきました。本当にそれでよいですか？後悔しませんか？

◇私たち浜松市憲法を守る会は、生活も平和問題も、原発問題も基地問題も一貫していまの平和問題に基準を置いて行くべき方向を指し示してきました。発足以来五十年、誤ったとか失敗したと思っただけは一度もありません。

◇これからは私たちは平和憲法に基準を置いて歩んでゆきます。

☆来月十一月九日は平和行進が始まってから五十周年目の記念行進です。みなさん一緒に歩きますか！（参加者には記念バッジをプレゼントします）

二〇一四年十月十二日(日) 第五七二回憲法を守る平和行進

★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五  
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

〔日本国憲法第九条〕

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。